

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道	(2) 記載者氏名:	鈴木貞信	会員番号:	13645	事務局整理記入欄	北海道 - 11
分水嶺区分	H146美笛峠～H145白老岳東峰	(3) 山行日:	2004年	2月	1日	(4) 天候	晴のち一時雪

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
漆崎 隆	13040	鈴木 美紀	会友 10				
漆崎 裕子	13041	石田 貴子	会友 32				
鈴木 貞信	13645	大畑 博子	会友 35				
石田 栄子	会友 4						
計			7名	計			名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: 滝笛トンネル西口～美笛峠～白老岳東峰(945.1)～白老岳(968)～R276中笛橋													
アプローチ: 主路:札幌～支笏湖～R276滝笛トンネル西口～美笛峠、 復路:分水嶺白老岳分岐(P930m)～白老岳～二の沢川西尾根～R276中笛橋													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特 記
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	滝笛トンネル西口	白老岳	141	10	23.8	42	42	17.8	564		10:05		
分水嶺到達点H146	美笛峠	白老岳	141	11	16.9	42	42	26.9	619	10:50	11:00	B-4	(11)
	送電線下	白老岳	141	11	20.2	42	41	57.4	736	11:35	11:45	B-4	(8)
	P870	白老岳	141	11	21.8	42	41	31.8	872	12:15	12:40	B-4	(9), (10)
H145	東峰 945.1	白老岳	141	11	28.1	42	41	18.6	942	13:00	13:05	B-4	(9)
分水嶺離別点	P930分岐	白老岳	141	11	28.9	42	41	9.2	927	13:20	13:20	B-4	(10)
歩行終了点	R276中笛橋	白老岳	141	9	35.5	42	42	10.5	544	15:45		B-4	
総歩行時間(休憩時間を除く):											4時間15分		

分水嶺距離: 2.6km

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H145	945.1				積雪のため、確認不能

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

分水嶺P758の近くに送電線が横切っている。分水嶺の東側は崖状の急斜面が連なっているが、大きな雪庇はない。
P930～白老岳へのコルの少し上(850)に、金属板の方向標識(白老岳)がある。夏道があるのか?

(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺の稜線には、美笛峠近くは人工林や雑木などの小径木が多く、700m位からトドマツやエゾマツが自生、さらに標高が上がるにつれてミズナラやダケカンバの巨木があり、おおむね広葉樹林帯となっている。
945.1や白老岳の頂上は、ハイマツが雪の下になっている。
ウサギの足跡が各所で見られた。

(10) その他の特記事項

白老岳の頂上(E141°10'58.8"、N42°41'00.8" 968m)は積雪1.2m位。山頂標識は頭部分のみが雪の上に出ている。
今回は、全員スキーによる踏査登山。
美笛峠から北の分水嶺は 690.3まで見えるが、その先は見え、P930から北東への分水嶺はヤセ尾根が連なり樹木も多く、踏査にはスノーシューがよさそう。
P870からは、近くの山々や支笏湖・洞爺湖・太平洋が見える。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 美笛峠より樽前台地への分水嶺